

○第74回プリオン専門調査会

日時：平成24年9月5日（水）9：30～12：26

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

- ・事務局より、評価書（案）の「たたき台」中「Ⅷ. 食品健康影響評価」以外の項目について、前回からの修正点、各項目のまとめ、欠席委員からの意見を説明した後、項目毎に審議がなされた。
- ・その後、事務局より、「Ⅷ. 食品健康影響評価」に関する座長提案の「たたき台」、欠席委員からの意見について説明した後、審議がなされた。
- ・審議の結果、以下のリスクの差については、いずれも「あったとしても非常に小さく、人への健康影響は無視できる。」と評価された。

（1）国内措置

ア 検査対象月齢：現行の規制閾値である「20か月齢」から「30か月齢」とした場合のリスク

イ 特定危険部位（SRM）の範囲：頭部（扁桃を除く）、せき髄及びせき柱について、現行の「全月齢」から「30か月齢超」に変更した場合のリスク

（2）国境措置（米国、カナダ、フランス及びオランダ）

ア 月齢制限：現行の規制閾値である「20か月齢」（フランス・オランダは輸入禁止）から「30か月齢」とした場合のリスク

イ SRMの範囲：頭部（扁桃を除く）、せき髄及びせき柱について、現行の「全月齢」（フランス・オランダは輸入禁止）から「30か月齢超」とした場合のリスク

- ・評価書（案）の修正については座長一任とされ、修正後、食品安全委員会へ報告することとなった。
- ・また、今後、30か月齢よりさらに月齢の規制閾値を引き上げた場合のリスク評価を行うことから、評価手法等についての検討を進めることとされた。
- ・次回の開催については、日程調整の上、決定することとされた。

以上